

平成28年度 出雲医療看護専門学校 自己点検・自己評価

【目的】

自己点検・自己評価は教育評価の一環として位置づけられる。本校では教育活動やその他の運営状況について、点検評価を行うことで強みと課題を明らかにし、教育の質向上や健全な学校運営を目指して組織、継続的に取り組む。

【方法】

- 「特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構(以下「機構」という。)がガイドラインに準拠して制定した「専門学校等評価基準書Ver4.0」を基準に自己点検・自己評価を行なう。
- 全職員が評価表に基づき評価を行い、その結果を「自己点検・自己評価委員会」にて検討し、職員へフィードバックする。
- 公表
- 評価結果に基づき、次年度への重点課題を決め、改善に取り組む。

※評価基準 1 できていない 2改善が必要 3ほぼできている 4できている

大項目	大項目の評価	中項目		中項目の評価	小項目(指標)		小項目の評価
I 教育理念・目的・ 育成人材像	3	【1-1】	理念・目的・育成人材像	3	1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	3
					2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	3
					3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3
					4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	2
現状				今後の課題と対策			
学生には学生便覧が配布されており周知はできているが、保護者や関連業界への周知は不明瞭である。 「特色ある教育」という点では、取組みやしくみ作りが不足している。 学生の進捗状況や3年間を見据え、実習日程など協力を得られており、業界との協力は得られている				教育の理念が見えやすいように提示する。 学科ミッションを定めているが、まだ十分とはいえない。			

大項目	大項目の評価	中項目		中項目の評価	小項目(指標)		小項目の評価
II 学校運営	2	【2-2】	運営方針	2	5	理念等に沿った運営方針を定めているか	2
					6	理念等を達成するための事業計画を定めているか	1
					7	設置法人は組織運営を適切に行っているか	1
						8	学校運営のための組織を整備しているか
					9	人事・給与に関する制度を整備しているか	1
					10	意思決定システムを整備しているか	2
					11	情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	2
現状				今後の課題と対策			
運営方針を定めているが周知できておらず、内容も不明確な項目が多い 予算の全体像・詳細が不明瞭で、様々な情報が浸透していないことも多い。				様々な情報が浸透できない原因を明確にし、情報共有を図る必要がある。全体に組織運営において、明確にすべき問題があり、現在委員会などで見直しをしている。			

大項目	大項目の評価	中項目		中項目の評価	小項目(指標)		小項目の評価
III 教育活動	3	【3-8】	目標の設定	3	12	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3
					13	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3
		【3-9】	教育方法・評価等	2	14	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3
					15	教育課程について外部の意見を反映しているか	2
					16	キャリア教育を実施しているか	2
					17	授業評価を実施しているか	2
					3	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3
		【3-10】	成績評価・単位認定等	3	19	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3
					20	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4
		【3-11】	資格・免許の取得の指導体制	4	21	資格・免許取得の指導体制はあるか	4
					22	資格・要件を備えた教員を確保しているか	3
		【3-12】	教員・教員組織 ※教員=専任・兼任・非常勤含む	3	23	教員の資質向上への取組を行っているか	2
24	教員の組織体制を整備しているか				3		
現状				今後の課題と対策			
教育理念である「実学教育」「人間教育」「国際教育」に基づいた教育課程の考え方が明文化され、教育課程を編成している。実習施設をはじめとする業界との連携をとり、学生のもつ課題や指導方法について意見を取り入れ指導に活かすことができている。職業教育のより一層の充実を図るために、卒業生や就職先との意見を取り入れていく必要があるが、特に卒業生に対するアプローチが不足している。また、教育システムとしての卒業後教育が具体化されていない現状である。教員の研修は大阪滋慶学園の研修がプログラム化されているのでそれを中心に研修し資質の向上を図っている。				1つ目の課題は、授業評価が継続できるシステムの構築である。学校全体としての質がアップできるようにシステム作りをする。 2つ目の課題は、卒業生とのネットワーク作りをし、外部の意見を取り入れていく必要がある。職業教育のより一層の充実を図るためには、卒業生や就職先との意見をより一層取り入れていく必要がある。 3つ目は、教育システムを充実させていくために入学前から卒業後までの教育の具現化が課題であるので、具体的な内容を検討し職員が共通認識していく。			

大項目	大項目の評価	中項目	中項目の評価	小項目(指標)	小項目の評価		
IV学修成果	3	【4-13】	就職率	4	25	就職率の向上が図られているか	4
		【4-14】	資格・免許の取得率	3	26	資格・免許取得率の向上が図られているか	3
		【4-15】	卒業生の社会的評価	2	27	卒業生の社会的評価を把握しているか	2
現状				今後の課題と対策			
<p>第一専門職での100%就職内定という目標を掲げ、一期生は100%を達成している。就職業務は主にキャリアセンターが実施している。就職状況の把握はできているが、業界関係者や高校の先生に見せることのできるパンフレットや資料(就職状況などについて載せているもの)がなく周知されにくい現状がある。</p> <p>免許取得率100%合格という目標を掲げ、学年計画に基づく国家試験対策や学生自身が学習計画をたて学習できるよう支援している。</p> <p>また卒業生の社会的評価は、卒後の評価をしている学科もあるが、学校としての取り組みはなくデータとして入力する表もない。</p> <p>また、卒業生の受賞状況なども把握できていない。</p>				<p>学校独自で実施している就職ガイダンスや各分野でのインターンシップや見学会、セミナーに参加するなど経験を通じて業界情報の収集や社会人として必要な基礎的な力をつけると共に就業意識を向上させる取組みを早期に行い、学生が学び希望する第一専門職への就職対策指導を行っていききたい。</p> <p>免許取得率を達成させるため、特別講座、セミナー等、学習支援の取り組みを向上させる必要がある。国家試験対策センターとの連携強化し出題傾向の把握に努めたりWeb学習の活用を積極的に行いたい。そして今後、卒業生の追跡調査やアンケートを実施し、卒業生へのアンケートや同窓会を実施し、情報収集する必要。また、卒後教育が不十分なので同窓会などを通して研修会の開催行っていききたい。</p>			

大項目	大項目の評価	中項目	中項目の評価	小項目(指標)	小項目の評価		
V学生支援	3	【5-16】	就職等進路	3	28	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3
		【5-17】	中途退学への対応	3	29	退学率の低減が図られているか	3
		【5-18】	学生相談	3	30	学生相談に関する体制を整備しているか	3
					31	留学生に対する相談体制を整備しているか	2
		【5-19】	学生生活	2	32	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3
					33	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3
					34	学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	2
					35	課外活動に対する支援体制を整備しているか	2
		【5-20】	保護者との連携	4	36	保護者との連携体制を構築しているか	4
		【5-21】	卒業生・社会人	2	37	卒業生への支援体制を整備しているか	2
					38	産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	1
39	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか				2		
現状				今後の課題と対策			
<p>就職に関する支援体制はできているが、各学科で状況の把握がばらばらである。退学者に関しては状況・経過・面談等の記録に基づいて、会議で報告されており、また保護者への報告も随時なされている。カウンセラーによる個別相談、学習サポートセンターの設置による学力の向上等に対応している。退学率は低下しているが、まだ目標を達成できていない。学生の相談については、カウンセラーの配置、関連医療機関との連携で対応している。留学生に関する体制はまだできていない。さまざまな奨学金に関する制度はあるが、全ての教職員がそれを把握しているとはいえない。学費の分割納入については個別に対応。</p> <p>保健室は設置されているが運営に関する取り決めは不明確。学生寮は設置されていないが、住居の紹介は行っている。課外活動として同好会が活動しているが、状況の把握や、紹介が不十分。保護者懇談会を開催し、また随時個別の保護者面談を行っている。</p> <p>キャリアアップに向けた卒業生への支援体制はほとんどできておらず、同窓会も現在立ち上げ中。国家試験対策として、リスタートには取り組んでいる。</p> <p>各職能団体との連携はできているが、共同開発等はまだできていない。</p> <p>社会人学生に向けた体制はまだできていない。</p> <p>入学前に取得した単位に関しては、取り決めに従って対応している。</p>				<p>就職に難しはキャリアセンターと教員との連携の強化を図る。また、業界との連携を取っていくことも必要。学生の状況を担当以外の教員が把握できていない学科もあり、体制の強化や情報の共有が必要。また初年次の教育がポイントになる。</p> <p>カウンセリングの利用状況や関連医療機関からのフィードバック等の情報交換が必要。面談の記録の扱いに注意する。学生からの緊急連絡のために各学科でPHSを準備してはどうか。留学生に関する体制作りが必要。経済的な支援体制に関する教職員への情報提供をしっかりと行う。現状では学生寮の設置は困難であり、必要性も疑問。同好会に関する情報提供として、掲示板の設置、オリエンテーションの開催等が考えられる。教職員が研究に取り組める環境作りが必要。</p> <p>卒業生を対象にした勉強会を行う。</p> <p>再就職、キャリアアップ等への対応も今後の課題になる。</p> <p>出産後の職場復帰への支援等、業界からのいろいろな要望はあるので、今後対応していく。長期研修制度の整備が必要。</p>			

大項目	大項目の評価	中項目	中項目の評価	小項目(指標)	小項目の評価		
VI教育環境	3	【6-22】	施設・設備等	3	40	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3
					41	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3
		【6-24】	防災・安全管理	3	42	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3
					43	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	2
現状				今後の課題と対策			
<p>施設・設備について、図書の文献検索システムが現状ない。共有施設は充実しており、卒業生への開放も行っている。施設については長期修繕計画がある。</p> <p>学外実習等については、各科規定に定められた実習時間を実施しており、大きな問題はないと考える。しかし、関連業界との連携による企業研修等の実施ができていない。他、海外研修を実施している。ただ評価についてはもう少し検討する必要はある。</p> <p>防災・安全管理については、消防避難訓練を年に1回実施している。しかし、火事等のマニュアルはあるが地震のマニュアルがない現状。その他薬品関係の取り扱いにも規定が必要。</p>				<p>図書室のシステム整備が必要。専門機器の設置がさらに必要。</p> <p>実習の評価基準についてまだ検討の余地がある。</p> <p>海外研修の評価基準もさらに明確にする必要がある。</p> <p>教職員を対象とした防災訓練が必要。</p> <p>薬品等危険物対応のマニュアルが必要。</p>			

大項目	大項目の評価	中項目	中項目の評価	小項目 (指標)	小項目の評価	
Ⅶ学生の募集と受入れ	3	【7-25】	学生募集活動	3	44 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4
					45 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	3
		【7-26】	入学選考	2	46 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	2
					47 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	2
		【7-27】	学納金	3	48 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3
					49 入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	4
現状				今後の課題と対策		
<p>高等学校等教育機関に対しての情報提供は行っているが、募集状況から見て効果がでていない。高校教員、保護者に向けた案内が不足している。</p> <p>募集活動における、入試種別が志願者に合った形態か？周知されているか？試験内容が適切か？受験後の状況？の分析が必要。</p> <p>今年度より入試委員会を立ち上げ、過去の受験状況を分析し見直しを図る。今年度より入試委員会を設置し検討してきた。現状、入試の選考基準や規程が不明確な部分があり見直す必要がある。</p> <p>他、留学生や障がいのある学生への規定がない</p> <p>学科ごとの合格率・辞退者などのデータの蓄積・管理、入学予定者の予測数値は算出できている。</p> <p>しかし現状、学科ごとの入学者の傾向に対して授業方法を検討することが十分にできていない。</p> <p>ただ、入試への考え方として、試験や選考方法については社会人を含めニーズに対応出来ている。</p> <p>他、多額の金品など渡していない</p>				<p>保護者向け資料の作成</p> <p>高校教員向け資料の作成</p> <p>入試制度の見直しまたは精査が必要</p> <p>入試の選考基準等を教職員で統一理解することが重要。</p> <p>財務等の計画数値路応募者数の予測値等の整合性を図るについては改善が必要。</p>		

大項目	大項目の評価	中項目	中項目の評価	小項目 (指標)	小項目の評価	
Ⅷ財務	2	【8-28】	財務基盤 ※法人・学校が連携して評価する。	2	50 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	2
					51 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	2
		【8-29】	予算・収支計画	2	52 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	2
					53 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	2
		【8-30】	監査	2	54 私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	2
		【8-31】	財務情報の公開	2	55 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	2
現状				今後の課題と対策		
<p>中長期5年事業計画を立て、その中で収支計画を実施。</p> <p>法人全体としては、財務基盤は安定している。</p> <p>毎年、財務数値についての分析は実施している。</p> <p>収支計算書による分析を行なっている。</p> <p>今年度収支計画および5年計画を作成している。</p> <p>年に3回の予算執行修正計画を立てている。</p> <p>公認会計士による内部・外部監査の実施をし、その都度、指摘の合った事項に対する改善を行なう。</p> <p>法人としての情報公開(決算報告)はしている。</p> <p>公開内容(資金収支計算書、消費収支計算書、貸貸対照表、財産目録、監査報告書)</p>				<p>本校として、財務基盤を安定させるためには、学費収入である学生募集を定員通りに確保すること。</p> <p>約3年後には、施設・設備等での修繕計画もあるので、設備投資ができる収入を確保しなければならない。</p> <p>次年度は、人件費の見直しをする。(人員削減と効率化、ただし必要な人員は確保する)</p> <p>定員通りの学生募集をしっかりと行い、毎年イレギュラーが発生した時のために財源を確保する必要がある。</p> <p>経理処理についての指摘事項の改善を図る。</p> <p>学校単体として公開するかは今後検討する。</p>		

大項目	大項目の評価	中項目	中項目の評価	小項目(指標)	小項目の評価	
IX法令等の遵守	2	【9-32】	関係法令、設置基準等の遵守	2	56 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	2
		【9-33】	個人情報保護	2	57 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	2
		【9-34】	学校評価	1	58 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	2
					59 自己評価結果を公表しているか	1
					60 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	1
		61 学校関係者評価結果を公表しているか	1			
【9-35】	教育情報の公開	2	62 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	2		
現状			今後の課題と対策			
<p>行政などへの諸届等はできている。 定期報告、学則、実習変更等についても随時実施している。 ガバナンスにおいてはほぼ確立できているが、法令順守の意識改革や啓発活動については、一部見直しが必要である。 自己点検・自己評価については、今年度より体制づくりを行い、全教職員でその取り組みを行なっている。(12月、1月に実施) また、公表については次年度に向け計画を立てている。 学校関係者評価については、まだ整備が整っていない。</p> <p>教育情報は一部のみ情報公開をしている。(建学の理念、学科概要、時間割等)</p>			<p>ハラスメント関係や倫理観などにおける、整備や修正等を行ない、教職員・学生の認識を高める。</p> <p>個人情報保護委員会で、規程の整備や研修ならびに啓発活動に対する年間計画を作成する。 2月中に評価結果をまとめて、公開し次年度の改善計画に取り組む。 3月中に公表内容の決定。 学校関係者評価は、次年度向けに準備計画中である。</p> <p>現在、自己点検・自己評価委員会にて情報公開に向けて準備中。 次年度中に公開する計画を立てている。</p>			

大項目	大項目の評価	中項目	中項目の評価	小項目(指標)	小項目の評価	
X 社会貢献・地域貢献	2	【10-36】	社会貢献・地域貢献	2	63 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
					64 国際交流に取り組んでいるか	2
		【10-37】	ボランティア活動	2	65 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	2
現状			今後の課題と対策			
<p>産学官については市との連携はできており、業界や行政と連携した研究はできている学科もある。 全体として地域貢献や社会問題に対する取り組みは、まだできていない。</p> <p>高校のキャリア教育への関わりは一部できている。</p> <p>留学生の受け入れに対して、体制作りや働きかけは十分ではない。</p> <p>学校としての国際交流(人事・研究)の実績はなし。</p> <p>ボランティア活動の把握はできているが、今後に関わる検討や情報の共有が不十分。</p>			<p>出雲市との連携協定が結ばれ、今後の活動を活発に行なっていく必要あり。</p> <p>地域貢献などについて学友会と学校との連携、定期的な会議が行なわれる必要がある。</p> <p>具体的な国際交流の内容、方法の検討が必要。</p> <p>ボランティアの参加のとりまとめ、報告などの一連の流れを検討する必要がある。</p>			